

「三年生タイム」活動案

平成 27 年 6 月 24 日 (水)

対象児童 3 年生 7 名

- (1) テーマ 気圧を体感しよう！
- (2) 活動のねらい 身近な例を使って気圧の強さはどれくらいかを理解し、それを実感する。
- (3) 準備物 ゴム板 (7 枚)、キリ (7 本)、なべぶた (7 個)
- (4) 展開

時間 (40 分)	児童の活動	指導者の支援
15 分	○吸盤を使って、気圧とは何か？	●挙手させて指名してから発言させる 理解しているかの確認
5 分	○3種の吸盤を使って面積が大きければ感じる気圧量も大きくなることの説明 実際に吸盤を使って気圧の補足説明	●前に来させて軽く体験させる。
20 分	○実際に吸盤を作って、実験してみよう	●話を聞かずに先さき進んでしまうことが予想されるので、大きい声を出して要所で話を聞かす。

[活動を終えての感想 (成果及び課題)]

気圧は正確な説明をしようとするのが高校範囲まで行くので、あえて省いたりごまかして説明する部分が多かった。そのため全部の説明が子供たちに理解できたわけではなかったと思う。それでも例を面白く想像できる範囲で行うことで、児童の興味をあまり無くさずに授業ができた。

また実験に入ってから授業計画がはっきりとしておらず、実験内容だけで流れまではシュミレーションできていなかった。そのため離席と着席が多くなり児童の集中力が切れてしまう要因になった。活発な3年生であるということも考えてルールを決めて、実験の内容をあらかじめ伝えておくなどの工夫がもう少しできた。